

# 令和2年新春講演会・懇親会

主催 公益財団法人名古屋産業振興公社  
共催 テクノプラザナゴヤ合同事業委員会

名古屋地域のものづくり産業を担う経営者・技術者の皆様に、お役に立つ情報を提供し、参加者相互の交流を深めていただく機会として、恒例の新春講演会・懇親会を次のように開催いたします。

今回は、愛知工業大学 客員教授 末松 良一氏、尾陽木偶師 九代 玉屋 庄兵衛氏をお迎えし、江戸期からの長い歴史がある、からくり人形の精巧な作品・製品や技とデザインを通してものづくり文化のシンボルの原点についてご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時 : 令和2年1月24日(金曜日) 午後4時～(受付開始3時30分)

会場 : キャッスルプラザ4階「鳳凰の間」  
名古屋市中村区名駅4-3-25 電話 (052) 582-2121

内容 : 講演会・実演(からくり人形) 午後4時～午後5時30分

## <講演>

「ものづくり文化の源流 からくり人形」

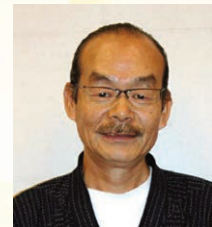
愛知工業大学 客員教授

末松 良一 氏



## <実演>

尾陽木偶師 九代 玉屋 庄兵衛 氏



「茶運び人形」は、人形が持つ茶台に茶碗を置くとお客様のところへお茶を運び、お客様が茶碗を取ると止まります。飲み終えた茶碗を茶台に置くと最初の位置に戻るという「座敷からくり人形」です。



「弓曳童子」は、動力や機構を収納した台の上に座った童子が、矢台の四本の矢を次々につがえ、的に向かって矢を射る自動人形です。動力は、ゼンマイを用い数枚のカムに連動する糸によって人形を動かします。特に頭の部分は人間の動きや仕草を表現しています。



「二筆文字書き人形」は、右手と口に咥えた筆で「松」と「竹」を同時に書くという極めて珍しい人形です。左手に持つ台の梅の柄を合わせると「松竹梅」となり、とてもお目出度い文字書き人形です。

<懇親会> : 午後5時45分～午後7時

・会費（懇親会費を含む）

10,000円 賛助員、テクノプラザナゴヤ会員

12,000円 一般

・申込方法

参加申込書にご記入の上、FAXにて、令和2年1月10日(金)までに  
公益財団法人名古屋産業振興公社までお申込み下さい。併せて、会費を次の  
銀行口座へお振込み下さい。(手数料は振込人負担でお願いします。)

銀行名 三菱UFJ銀行 六番町支店 普通口座

口座番号 1037280

口座名義 コウエキ サイダン ホウジン ナゴヤ サンギョウケンコウ コウシャ  
公益財団法人名古屋産業振興公社

【お問い合わせ先】

公益財団法人名古屋産業振興公社 工業技術振興部

TEL 052-654-1633 / FAX052-661-0158

E-mail : kougyou@nipc.or.jp

---

公益財団法人名古屋産業振興公社 行

(FAX : 052-661-0158)

## 新春講演会・懇親会参加申込書

会社名

---

(連絡先電話番号)

(担当者氏名)

---

参加者氏名	所属部課	役職	出席欄 (○) をつけて下さい	
			講演会	懇親会